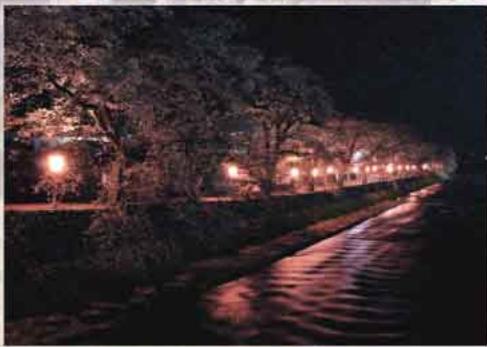


ぐるっ まにわ 真庭 まちの話題



久世トンネル桜(4/4)



美甘宿場桜(4/12)

春を彩る真庭の桜

3月下旬から少しずつ桜前線が北上し、約1カ月にわたり市内各地でお花見ができました。訪れた観光客らは、桜並木をゆっくり歩きながら、春を満喫していました。少しだけですが、今年の桜を紹介します。



宇宙桜を淡路市へ

4月20日、震災復興祈念で兵庫県淡路市に宇宙桜(別所)の苗木を寄贈するため、「NPO法人・醍醐桜未来プロジェクト」が美咲町の園芸家氏平さんを招き、取り木作業を行いました。1年後には移植可能なまでに成長し、寄贈されます。



岩井畝の大桜(4/9)

3/29 豆カレーをお披露目

湯原温泉の女将で作るシャクナゲ会が、湯原特産の青大豆を使ったカレーを開発し、湯原温泉ミュージアムで試食会を開きました。湯原温泉の新たなお土産にしようと制作。来場者は風味や食感を楽しみました。



4/2 交通・少年警察協助員に委嘱状伝達

本年度の交通・少年警察協助員の委嘱状伝達式が真庭警察署で行われました。委嘱された交通警察協助員37人、少年警察協助員29人が、事故や犯罪のない地域づくりに向けて決意を新たにしました。



4/4 湯原で全国大会開催

第14回全国ベテランバタンク大会が4月4、5日に湯原温泉スポーツ公園で開かれました。真庭市内をはじめ、埼玉県や岐阜県などから60歳以上の愛好者の71チームが参加し、互いに交流を深め合っていました。



4/5 ホルスタインの優秀さを競う

第30回中国地区ブラック&ホワイトショウが全農岡山県本部総合家畜市場で開かれました。約130頭のホルスタインが出品され、体格や胸のはりなどを審査。各部門で表彰を行い酪農業の発展を期しました。



4/19 千本桜に願いを込めて

蒜山上福田にある川上自然運動公園で蒜山千本桜植樹式が行われ、地元の人を中心に約200人が参加しました。参加者は、千本の桜が一面に咲き誇るよう願いを込めて丁寧に苗木を植えていました。



輿入れ道中を見る多くの観光客

中津井雛の文化まつり（中津井やまびこ会主催）が3月28日と29日の2日間、なかつい陣屋周辺で行われました。会場では江戸時代に皆部の庄屋から児島の塩田王・野崎家へ嫁入りした際の「輿入れ道中」が再現されました。仲人を務めたとされる陽明学者・山田方谷や人足姿などに扮したやまびこ会メンバー約40人が行列をつくり、往事のにぎわいを演出し、多くの観光客やカメラマンの注目を集めていました。

江戸時代の嫁入りを再現
中津井雛の文化まつり



景色を眺めながら歩く参加者

出雲街道を歩くイベントが4月12日に開かれ、真庭市内を中心に約60人が参加しました。参加者は松江藩の藩主が参勤交代の時に通っていたとされる道を中心に、美甘の田口地区から勝山文化センターまで歩きました。ガイドの出雲街道勝山宿の会のメンバーが、道中で山中一揆に縁のある場所や、今は石積みだけが残っている茶屋の跡地などについて解説し、参加者は当時と今の暮らしの違いを感じていました。

歴史と文化を感じて
出雲街道歩き会



第12回 富原お茶まつり

「お茶摘み体験」や「製茶体験」といった今では貴重な体験ができるほか、爽やかなコクのある新茶と温かいおもてなしで日頃の疲れをリフレッシュ。
また、地元住民による出店テントでは、地元特産のお茶製品や軽食などが販売されます。

■日時 5月17日(日) 午前9時～

■場所 富原小学校グラウンド

■主催 「富原お茶まつり」実行委員会

TEL 0867(46)2001

お茶摘み体験
製茶つくり体験
してみませんか

蒜山歴史大学 第1期 蒜山地域の古代・中世

場所／蒜山郷土博物館 時間／各回 午後1時30分～3時

- 第1回 5月10日(日) 蒜山高天原伝説の原点を求めて
—伝説は誰によって、どのように生まれたのか?—
- 第2回 5月24日(日) 3万年前を掘る
—蒜山原の最初の人びと—
- 第3回 6月7日(日) 蒜山の原始・古代
—縄文から四つ塚古墳の時代まで—
- 第4回 6月14日(日) 源平内乱の時代と蒜山
—真庭北部への戦乱の影響—

- 第5回 6月28日(日) 中世民衆の祈りと暮らし
—神と仏に関わる蒜山の農民—
- 第6回 7月12日(日) 石と地名が語る知られざる蒜山の中世
—蒜山の集落の誕生と個性—
- 第7回 7月26日(日) 蒜山の戦国時代
—真庭激動の時代、戦いと山城の視点から—
- 第8回 8月2日(日) 徹底説明・大宮踊の研究
—踊り・由来について全編新発見—

定員▶各回50人 参加費▶1回300円 ※8回共通券2,000円(限定30枚)
申込方法▶当日受付(共通券は博物館にお申込みください) 申込締切▶共通券は30人に達した場合締切

■問い合わせ先 蒜山郷土博物館 前原・深見 TEL7-66-4667

先日、ある被写体(建物)を撮影していたときのこと。「あそこの斜面を登れば、もっとイイ感じの写真が撮れるかも」と思いつきました。しかし、その前には結構深い溝が…。勇気を出して、カメラを持ったままエイツとジャンプ。老化と運動不足とは怖いもので、それ以来右足が痛いです。それでも、果敢にチャレンジした自分を自分でほめてあげたい。 江崎



真庭市制施行10周年記念

「編集後記楽しみに見てるよ」
「広報紙はまずそこから読むよ」
などとよく言われます。広報紙の紙面はいろいろなルールがありますが、この編集後記は比較的好きなことを書けます。昨年のを読み返すと、僕の書いていたことは、他の人に比べ緩い感じでした。これからも緩い感じで書いていきます。お楽しみに。ですが、中身もしっかり読んでください。横山

まにわのスキッツ!!
編集後記